

巨大な花が咲く「タイタンビカス」見頃！

～備北丘陵公園内、夏の花の先陣を切って見頃を迎えました～

みのりの里 第2駐車場付近で、約2,000株の「タイタンビカス」が見頃を迎えています。見頃は8月中旬まで続く見込みです。

「夏の花の開花状況」（7/24 現在）

名称	開花状態	開花時期	開花場所	本数
タイタンビカス	見頃	7月中旬～9月中旬 ※見頃は8月中旬まで続く見込み	みのりの里 第2駐車場付近	約2,000株
ひまわり	生育中	8月上旬～8月中旬 ※見頃は8月中旬見込み	みのりの里 ピクニック広場	約5万本
ヒゴタイ	生育中	8月中旬～下旬 ※見頃は8月中旬見込み	ひばの里 田んぼ付近	約7株



みのりの里 第2駐車場付近の「タイタンビカス」（2023年7月24日撮影・見頃）

お問い合わせ先

国営備北丘陵公園 備北公園管理センター
企画広報課 課長補佐：末長すえなが

〒727-0021 広島県庄原市三日市町 4-10
TEL：0824-72-7000 FAX：0824-72-7828
メール：kikaku@bihoku-park.jp
ホームページ：<https://www.bihokupark.jp>

「タイタンビカス」とはどんな花？

タイタンビカスとは、ある特定のアメリカフヨウとモミジアオイの交配選抜種です。とても強く丈夫なので、日当たりさえ良ければ特に植えつける場所を選びません。特に暑さには非常に強く、強い西日のあたる場所でも大丈夫です。また、宿根性のため、秋には、地上部が枯れてしましますが、根が地下に残り、翌年の春にはまた芽を吹いて、初夏には花を咲かせてくれます。とても強く丈夫なので、一度植えつけば、毎年夏にお花を見せてくれます。とても成長が早い植物で、春に芽を出した後、晩夏には、大きいときで草丈3mにもなります。花期は、7月から9月の間で、一輪一輪は、一日花ですが、次から次へと開花し、1株でのべ200輪近くの花を咲かせます。花の大きさは子供の顔（直径15～25cm）ほどにもなり、この圧倒的な存在感と驚異的な強さ、ハイビスカスのような花姿と花の大きさから、ギリシャ・ローマ神話に登場する巨大な神々『タイタン』にちなんで「タイタンビカス」と名づけられました。



みのりの里 第2駐車場付近の「タイタンビカス」（2023年7月24日撮影・見頃）

「ひまわり」「ヒゴタイ」の様子



みのりの里 ピクニック広場の「ひまわり」(2023年7月24日撮影・生育中)



ひばの里 田んぼ付近の「ヒゴタイ」(2023年7月24日撮影・生育中)